

くらしの
手引き安全
安心福祉
こども教育・文化
スポーツ観光
イベント

事業者の方へ



市政情報

Google 力

[トップページ](#) > [くらしの手引き](#) > [環境・衛生](#) > [ペット・動物](#) > 猫の飼い方

猫の飼い方

更新日：2019年2月14日

猫は屋内で飼いましょう

屋外は猫にとって危険がいっぱいです。
また、糞尿やいたずらなどで近隣とのトラブルになることもあります。
このような危険やトラブルをさけるために、猫は屋内で飼育しましょう。

飼い主のいない猫を減らしましょう

野良猫に対して無責任なエサやりはしないでください。
トラブルの原因になるだけでなく、不幸な猫を増やす原因にもなります。
飼い猫として愛情をもって屋内で飼いましょう。

TNR活動について

猫を捕まえ (trap) 不妊・去勢手術をし (neuter) 元の場所へ戻す (return) TNR活動により、不妊・去勢手術を実施した猫は、他の猫と区別するため片耳の先を三角にカットします。その猫は、耳の形からさくらねこと呼ばれています。

飼い主のいない猫による、さまざまな相談がよせられます。しかし直接対処することが難しく、また猫は繁殖力が強いことから不幸な命が増えやすい動物です。
このような問題に対して、「TNR活動」を行うことは、自然減少・頭数抑制等をすることが期待でき、トラブルを未然に防ぐことにつながると考えられます。

龍ヶ崎市ではボランティア団体、動物病院にご協力いただき、平成30年12月から31年1月にかけて市内某所にてTNR活動を実施しました。計53頭の猫を捕獲し、不妊・去勢手術を行いました。この「さくらねこTNRは、猫や犬とヒトが幸せに優しく共生できる社会を目指す公益財団法人どうぶつ基金と龍ヶ崎市の協働事業です」

公益財団法人どうぶつ基金とは

動物の適正な飼育法の指導・動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の建設に寄与することを目的とする団体です。

□ [公益財団法人どうぶつ基金のホームページ（外部サイト）](#)